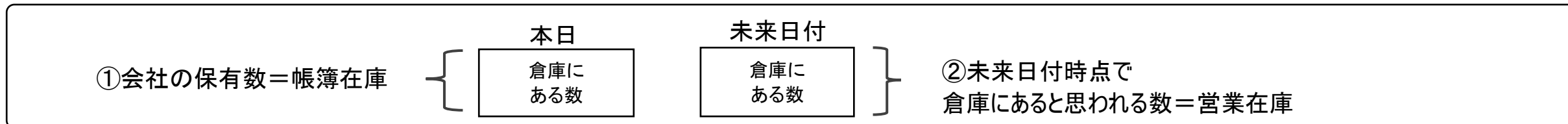


ふくろう鋼材版では、在庫管理は員数と重量で行っております。

■ 在庫の種類

ふくろう鋼材版では、以下の2つの在庫管理を実装しています。



帳簿在庫(実在庫)

会社が保有している商品の在庫数です。在庫管理対象の商品のみ出力できます。

管理帳票・画面： 商品在庫一覧表 …… 「在庫管理」タブの「商品在庫一覧表」ボタン

営業在庫(有効在庫)

受注、売上、発注、仕入が現在登録済みの伝票通り処理されるという想定で算出する未来の営業在庫数です。営業在庫は年月日ごとに算出、出力しますので、各日付ごとの「使える在庫」とも言えます。

見積、受注、売上、発注、仕入、生産の各入力画面の、明細情報の「倉庫コード」欄を選択してF1キーを押すと「倉庫別在庫一覧」が表示され、有効在庫を確認することができます。

行No	削除	伝区 出荷	商品コード 品名 2	品名 寸法 1 寸法 2 寸法 3	単位重量 長さ	倉庫 明細納期	原 単	員数 重量	単位	延べ長さ 受注数量	受注原単価 受注単価	受注原価 受注金額
1	<input type="checkbox"/>	掛受注 未納	01	01 100.00 0.00 0.00	2,563.25558 2,000.00	本社倉庫	P P	10 25,632.5558		20,000 10.00	200.00 300.00	2,000.00 3,000.00
掛受注 0.000000 0 0 0.00												

倉庫名	寸法 1	寸法 2	寸法 3	長さ	実在庫員数	有効在庫員数	実在庫重量	有効在庫重量
本社倉庫	0.00	0.00	0.00	0.00	1.0	1.0	0.000	0.000

■ 各在庫計算とデータ・日付との関係

各在庫計算は、各伝票入力データの以下の日付を元に計算されます。

帳簿在庫数

入力画面	在庫増減
受注入力	-
売上入力	売上日または出庫日
発注入力	-
仕入入力	仕入日または入荷日
切断入力	伝票日付
入出庫入力	入出庫日
生産入力(完成品)	完成日
生産入力(材料)	開始日
生産入力(残材入庫)	開始日
棚卸入力	棚卸日

※在庫管理対象の商品のみ集計できます。  
 ※棚卸は帳簿在庫と実在庫の差が、出庫データとして作成されるため、在庫減で記載しています。  
 ※売上傳票、仕入伝票は、「運用設定」の在庫引き落基準が、「伝票発行日」の場合は、売上日・仕入日となり、「配達(入荷日)」の場合は、出庫日・入荷日となります。

$$\diamond \text{帳簿在庫数} = \text{開始在庫数} + \text{開始残高日以降の上記データ増減数合計}$$

$$(\text{ = 開始在庫数} + \text{当日までの入庫数} - \text{当日までの出庫数})$$

営業在庫数

入力画面	在庫減
受注入力	明細納期(受注残)
売上入力	売上日または出庫日
発注入力	納入期日(発注残)
仕入入力	仕入日または入荷日
切断入力	伝票日付
入出庫入力	入出庫日
生産入力(完成品)	完成予定日
生産入力(材料)	開始日
生産入力(残材入庫)	※営業在庫としての増減は無し
棚卸入力	棚卸日

※棚卸は出庫データが作成されるため、在庫減で記載しています。

◇ 営業在庫数の算出方法  
 営業在庫は出力開始日～終了日を指定し、各日付ごとに在庫数を確認する仕様となります。  
 各日の営業在庫は、在庫計算の起算となる「本日営業在庫数」を求め、その数から各日までの在庫増減数を加算して計算します。

$$\text{営業在庫数} = \text{開始在庫数} + \text{開始残高日以降の上記データ増減数合計}$$

$$(\text{ = 当日の帳簿在庫数} + \text{当日までの発注残数} - \text{受注残数})$$

■ 開始在庫登録

システム導入時、各商品の開始在庫が設定できます。  
 同じ商品コードで登録している商品であっても寸法や長さ毎に在庫管理を行いたい、という場合に利用できます。  
 (操作マニュアル「開始在庫登録」も併せてご確認ください。)

例) ある商品が9月末時点で、倉庫には15個存在した場合を例に以下説明します。

①開始在庫登録

「システム管理」タブ⇒ 開始在庫登録で開始残高日や開始残高数量を登録します。  
 残高日は「システム管理」⇒「運用設定」の「在庫開始日」に指定します。  
 通常は開始残高日＝運用開始日を設定します。

数量は開始残高日時点での帳簿在庫数を登録します。 例では15個

削除	コード	商品名	寸法1	寸法2	寸法3	長さ	開始員数
<input type="checkbox"/>	S45C100	通常商品	100.00	0.00	0.00	5,500.00	15
<input type="checkbox"/>			0.00	0.00	0.00	0.00	0

登録する商品が多い場合、ファイルからインポートできます。

インポートするファイルはあらかじめ用意してください。  
 ファイルには、倉庫コード/商品コード/寸法1/寸法2/寸法3/長さ/開始員数/開始重量/開始金額をタブ区切りで指定します。

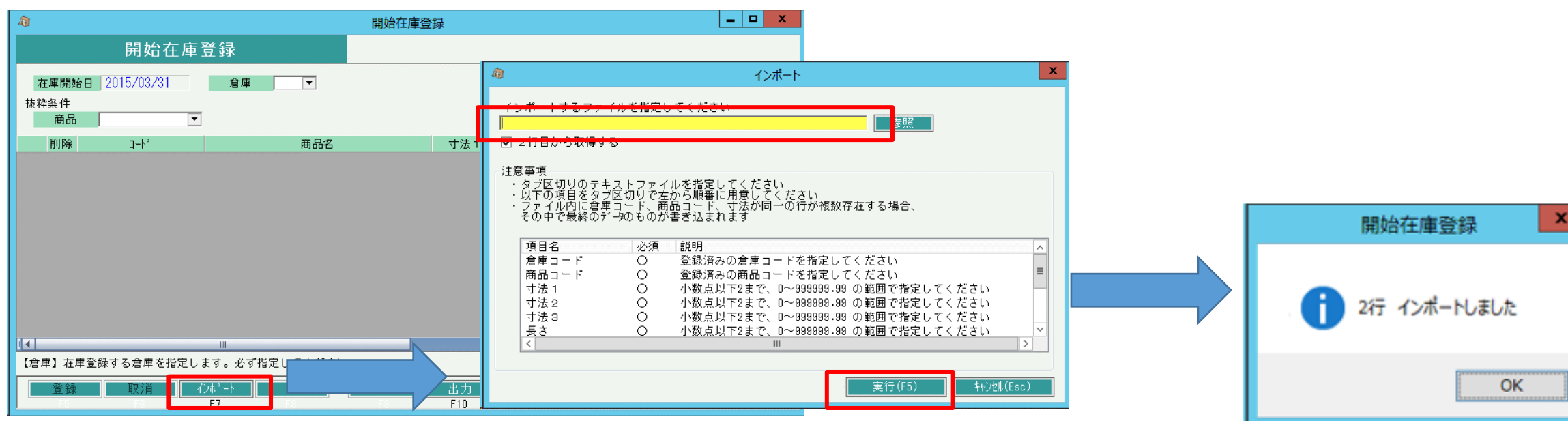
```

0000 000001 50 0 0 5500 10 452 84140
0000 000002 80 0 0 4500 32 874 45100
    
```

項目の間はTabで区切る

※開始金額は、棚卸評価法を「倉庫別移動平均」「月別総平均」に設定している商品の場合は指定してください。それ以外は0で登録してください。

画面下部の「インポート」ボタンをクリックします。  
 インポート画面で、インポートするファイルを選択します(参照ボタンから選択できます)。  
 1行目にタイトル行があり、実際のデータは2行目からの場合は「2行目から取得する」チェックをONにします。  
 「実行」ボタンをクリックすると、インポートが始まります。「XX行インポートしました」メッセージが表示されたら終了です。



## ②入出庫入力で在庫登録

「在庫管理」タブ⇒ 入出庫入力より、入庫伝票を登録します。  
 処理区分で「入庫処理」を選択し、入庫先倉庫を選択します。明細で商品と開始在庫数量を入力後、伝票を登録します。



### ③LOT在庫登録

LOT商品の場合は、入庫入力または、「システム管理」タブ⇒LOT在庫登録より登録します。

「ひな形」ボタンを押すと、インポート用のフォーマットがエクセル形式で出力されます。  
フォーマットに記載の注意事項を参考に、データを入力してください。

- ※ LOT在庫登録は、入庫データを一括で作る処理です。LOT商品以外の商品についても作成可能です。
- ※ インポートを実行すると、日付・倉庫単位で入庫伝票が作成されますので、入出庫入力画面より、修正/削除が可能となります。

◇ 在庫チェック設定について

- ・ 在庫チェックはすべて、「員数」でのチェックとなります。
- ・ システム管理にある「運用設定」にて、「在庫チェックをする」の設定が「警告」「エラー」の場合、各伝票の更新時に在庫チェックが行われます。「しない」の場合、在庫チェックは行われません。
- ・ システム管理にある「伝票機能設定」にて、「有効在庫を優先させる」のチェックが付いている場合は、有効在庫でのチェックとなります。

各伝票での在庫チェック比較元

見積入力	在庫チェックは行われません
受注入力	マスタ管理の「倉庫登録」にて、「在庫設定」をしている場合は、登録されている <b>最低在庫</b> と比較します。在庫設定をしていない場合は、員数が0以下になるとき伝票登録時にチェックが行われます。
売上入力	〃
切断入力	〃 製品や、入庫伝区のように在庫が増加するデータのチェックは行われません。
入出庫入力(出庫)	〃
入出庫入力(入庫)	在庫チェックは行われません
生産入力(材料)	マスタ管理の「倉庫登録」にて、「在庫設定」をしている場合は、登録されている <b>最低在庫</b> と比較します。在庫設定をしていない場合は、員数が0以下になるとき伝票登録時にチェックが行われます。
生産入力(完成品/ 残材入庫)	在庫チェックは行われません
発注入力	マスタ管理の「倉庫登録」にて、「在庫設定」をしている場合は、登録されている <b>最大在庫</b> と比較します。在庫設定をしていない場合は、在庫チェックは行われません
仕入入力	〃

- ・ LOT商品の在庫チェックは、対象のLOTNo(連番)の在庫が0を下回る場合のチェックを行います。